

JOHANNES PASSION BWV245 J.S.BACH

294年目のヨハネ受難曲。

混声合唱団
コルス・クビクルム東京
第一回 定期演奏会

指揮 中川 郁太郎

ソリスト 大島 博 (福音史家・テノール)
小原 浄二 (イエス)
金持 亜実 (ソプラノ)
谷地 畝 晶子 (アルト)
小藤 洋平 (バリトン)

オーケストラ アンサンブル・パルナス 東京

川原 千真 (ヴァイオリン、ヴィオラ・ダモーレ)
三輪 真樹 (ヴァイオリン、ヴィオラ・ダモーレ)
宮崎 桃子 (ヴィオラ)
中村 忠 (フラウト・トラヴェルソ)
菊池 かなえ (フラウト・トラヴェルソ)
森 綾香 (オーボエ、オーボエ・ダモーレ、オーボエ・ダ・カッチャ)
小野寺 彩子 (オーボエ、オーボエ・ダモーレ、オーボエ・ダ・カッチャ)
田崎 瑞博 (チェロ)
寺田 和正 (コントラバス)
能登 伊津子 (オルガン)
福沢 宏 (ヴィオラ・ダ・ガンバ、リュート)

合唱 コルス・クビクルム 東京

J.S.バッハ ヨハネ 受難曲

2018 4.7 sat

13:30開演 (13:00開場)

調布市文化会館「たづくり」内 くすのきホール

Ticket ¥3,000 / 全席自由

Chorus Cubiculum
T O K Y O

チケットお問い合わせ

✉ ccubiculum@gmail.com ホームページ <http://ccubiculum.wixsite.com/japanese/>

☎ 090-1808-7463 (中井)

振込先: みずほ銀行 調布支店 店番号 261 普 1558778 混声合唱団コルス クビクルム東京

調布市文化会館たづくり1F インフォメーション(9:00~21:30)



JOHANNES PASSION

宗教音楽の金字塔として、マタイ受難曲と並び称される、ヨハネ受難曲。

J.S. バッハ自身が1724年、ライプツィヒ・聖ニコライ教会で初演したその日、

再び東京・調布の地で響きます。

指揮 中川 郁太郎



東京藝術大学大学院独唱科修了。ドイツ、ライプツィヒに留学。ゲヴァントハウスやトマス教会をはじめ、ドイツ各地におけるコンサートに出演。また、ハレ教会音楽大学やコンセル・ロレーヌ主催の古楽アカデミー（於フランス、メス）でも学ぶ。帰国後はバッハの作品を中心に数多くの宗教曲のソリスト、指揮者として活躍。現在、立教大学大学院キリスト教学研究科修士課程後期課程在学中。音楽を大島博、故 太田直樹、多田羅迪夫、末吉利行、H.Ch. ボルスター、J. シュテンブリの各氏に、指揮を長谷川朝雄、M. ヤコブの両氏に師事。E. ヘフリガー氏、P. シュライアー氏、Z. ファンダステネ氏のマスタークラスを受講。混声合唱団コルス・クビクルム東京指揮者、東京室内歌劇場会員、東北学院大学宗教音楽研究所特任准教授。

福音史家・テノール 大島 博



中央大学法学部卒業後、東京藝術大学音楽学部声楽科に入学。渡辺高之助、高文二、原田茂生、中山悌一の各氏に師事。86年、同大学院在学中にミュンヘン音大に留学。E. ヘフリガーに学ぶ。90-91年D. フィッシャー＝ディースカウに師事。95年東京藝術大学大学院博士課程修了。宗教曲の分野で、初期バロックから現代作品まで幅広いレパートリーを持ち、とりわけバッハの演奏に定評がある。また、ドイツリート及び日本歌曲の演奏にも取り組んでおり、自主企画によるリサイタルに加えて各地での客演も数多い。96年からは（ドイツリートのたのしみ）と題した、ドイツ歌曲を知るためのレクチャーを継続中。近年は、さらに合唱指揮者、発声指導者としても幅広く活動している。立教大学大学院キリスト教学研究科特任教授。国立音楽大学非常勤講師。

イエス 小原 浄二



岩手大学教育学部卒業後、東京芸術大学音楽学部声楽科に進学。首席で卒業。同大学院修了。佐々木正利、伊藤巨行、多田羅迪夫の各氏に師事。ドイツリート、オラトリオを中心に研鑽を積み、東京芸大時代にはバッハカンタータクラブに所属し、研究・演奏を行う。92-94年には、鈴木雅明氏が音楽監督を務めるバッハコレギウムジャパンのコラスマスター及びソリストとして活躍。94-95年ドイツ留学し、H. クレッチマル氏に師事。帰国後も全国各地に招かれソロ活動を行い、宗教音楽の世界的指揮者である、H.J. ロツチュ、G.Ch. ピラー、G. ボッセとの共演のほか、関西フィル、紀尾井シンフォニエッタ東京、スウェーデン放送合唱団との共演などで高い評価を得ている。高知大学教育学部教授。高知バッハカンタータフェライン指揮者。

ソプラノ 金持 亜美



東京藝術大学音楽学部声楽科卒業。同大学院音楽研究科修士課程、及び博士後期課程修了、博士号を取得。現在、同大学音楽文芸教育研究助手。在学中、藝大定期第343回 藝大フィルハーモニア合唱定期演奏会 シューマン《楽園とベリ》、東京藝大音楽学部附属音楽高校第25回定期演奏会 モーツァルト《戴冠式ミサ》にソリストとして出演。また、奏楽堂モーニングコンサートに選ばれ、グリーグ《管弦楽つきの6つの歌EG177》を、D. ポストツク指揮、藝大フィルハーモニアと共演。その他、J.S. バッハ《マタイ受難曲》、ヘンデル《メサイア》、ハイドン《天地創造》、モーツァルト《レクイエム》、ベートーヴェン《第九》等、ソリストとして活動。第24 回友愛ドイツ歌曲コンクール入選。辻宥子、三林輝夫、佐々木典子、平松英子の各氏に師事。

アルト 谷地 晶子



岩手大学教育学部芸術文化課程音楽コース卒業。東京芸術大学音楽研究科修士後期課程独唱科修了。第16回日仏声楽コンクール第1位。第57回芸大メサイア、第28回台東区第九、第349回芸大合唱定期ベートーヴェン《ミサ・ソレムニス》のソリスト、第54回芸大定期オペラ《ファルスタッフ》クイックリー夫人を務める。また、J.S. バッハ《クリスマスオラトリオ》、《口短調ミサ》、《マタイ受難曲》、《ヨハネ受難曲》、ヘンデル《メサイア》、モーツァルト、ヴェルディ、ドヴォルジャーク、デュルフレ《レクイエム》、メンデルスゾーン《パウロ》《エリヤ》等においてソリストで出演。佐々木まり子、佐々木正利、故・磯貝静江、故・朝倉蒼生、森島彦、伊原直子、寺谷千枝子の各氏に師事。岩手大学、岩手県立大学、盛岡大学短期大学部非常勤講師。

バリトン 小藤 洋平



国立音楽大学声楽科卒業。ハンブルク音楽院（独）修了。鈴木惇弘、竹内則雄、K. ショホの各氏に師事。第12回友愛ドイツ歌曲コンクール入選。在独中よりJ.S. バッハ《クリスマス・オラトリオ》やカンタータ等のソリストを務め、帰国後も《マタイ受難曲》《ヨハネ受難曲》《口短調ミサ》やG.F. ヘンデル《メサイア》等、主に宗教曲のソリストとして活動している。また磯山雅氏のもとで国立音大音楽研究所（バッハ部門）研究員として研鑽を積み、J. リフキン指揮の各パート1人の編成によるバッハ《マタイ受難曲》で第2グループのバスを受け持つなど、アンサンブルにおいても豊富な経験を持つ。各地でドイツ歌曲を中心に様々なコンサートも行っている。コロ・リベロ・クラシコ、アンサンブル・ミルム及びカルテット・プロヴィンゾワールメンバー。

オーケストラ アンサンブル・パルナス 東京

バロック宗教曲の分野で豊富な経験をもつ俊英たちによる器楽アンサンブル。これまでにJ.S. バッハ《マタイ受難曲》《ヨハネ受難曲》《口短調ミサ》《マニフィカト》、モンテヴェルディ《ヴェスプロ》、ヘンデル《メサイア》《エジプトのイスラエル人》など各地で演奏を重ねる。メンバー全員がピリオド楽器とモダン楽器両方での宗教音楽の経験を豊富に持ち、その精緻でエネルギーに満ちた演奏は各地で常に高い評価を得ている。

合唱 混声合唱団 コルス・クビクルム東京

2015年に結成された、東京・調布を拠点に活動するアマチュア混声合唱団。「コルスChorus」とはラテン語で「合唱」、「クビクルムCubiculum」とは同じくラテン語で「小さな部屋（英：Chamber 独：Kammer 仏：Chambre）」の意。国にとらわれず、ルネサンス～バロック～古典期におけるヨーロッパの宗教曲を軸に、古楽器の音色に溶け込む美しい響きの実現を目指し、中川郁太郎の指導のもと、日々練習に励んでいる。

次回演奏会

J.S. バッハ：カンタータ147番《口と心と行いと生きざまもて》

（コラル《主よ、人の望みの喜びよ》を含む、全曲）ほか

Chorus Cubiculum 混声合唱団コルス・クビクルム東京
T O K Y O

団員募集

中川郁太郎先生の丁寧・明快な指導のもと、時間をかけて練習しますので、初心者の方でも安心！
皆さんも、私たちと一緒に歌いませんか！

- 練習日時：月3回・日曜日（おもに午後1時30分～）
- 練習場所：調布市文化会館「たづくり」（京王線調布駅より徒歩5分）
- 募集パート：全パート（男声は特に歓迎いたします）
- 練習見学は随時受け付けております。お気軽に御連絡下さい。



✉ ccubiculum@gmail.com ホームページ <http://ccubiculum.wixsite.com/japanese/>



調布市文化会館
「たづくり」2F
くすのきホール

access

京王線調布駅 徒歩4分

